

平成29年度
(第53期)
事業報告書

自 平成29年 1月 1日
至 平成29年12月31日

公益財団法人 国立京都国際会館

目 次

I. 法人の概況	・・・P. 2
II. 事業の概況	・・・P. 3～14
III. 理事会及び評議員会等に関する事項	・・・P. 15～18
IV. 庶務事項に関する事項	・・・P. 19～20

I 法人の概況

1. 設立年月日

財団設立	1966年（昭和41年）1月31日
開館	1966年（昭和41年）5月21日
公益法人への移行	2011年（平成23年）3月25日

2. 定款に定める目的

国有の会議場施設の管理の委託等に関する特別措置法に基づき管理の委託を受けた国有の会議場施設を適切に管理し、効率的に運用することにより、国際相互理解を促進し、学術、科学技術、文化等の振興及び地球環境の保全等に寄与することを目的とします。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 政府又は政府間機関による国際会議、学術・科学技術会議等の誘致及び運営事業
- (2) 国際交流と日本文化の普及事業
- (3) 国立京都国際会館の施設管理事業
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項

内閣府

5. 主たる事務所・従たる事務所の状況

主たる事務所：京都府京都市左京区岩倉大鷲町422番地

従たる事務所：東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル419

II 事業の概況

平成 29 年度の事業の概況として、催事運営においては、社会的注目を浴びた「第 32 回国際アルツハイマー病協会国際会議」を始め、秋篠宮両殿下のご臨席を賜った「第 23 回世界神経学会議」や、皇太子同妃殿下をお迎えした「STS フォーラム第 14 回年次総会」など多数の大型国際会議を成功裡に終えることができました。

催事誘致においては、国連主催の大規模国際会議としては、平成 9 年開催の「地球温暖化防止京都会議」以来 23 年ぶりとなる、2020 年開催の「第 14 回国際連合犯罪防止刑事司法会議」の誘致に成功しました。一方で、安定的な収益構造を確立するため、大型学術会議等の間に生じた非稼働日を埋めるべく、「緊急営業対策本部」を 7 月に設置し、誘致から開催までが短期間である企業・団体主催の会議や飲食を伴う催事の取り込みの強化に努めました。

しかしながら、東京五輪が開催される 2020 年前後にあわせて大型国際会議の日本開催が予定され、その前回会議の開催年に当たる平成 29 年においては、全国的に大型国際会議の日本開催が控えられという傾向にあったことに加え、当館での開催が決まりつつあった大型会議が、ニューホールの建設工事により仮設のテント設営が不可となったことから、他施設での開催に変更されるなど、厳しい状況が重なりました。その結果、平成 29 年度の会議開催件数は、昨年度から大幅に減少し、例年に比べても減少することとなりました。

そのため、収入については 12 億 6,963 万円（前年度比 4 億 6,550 万円の減収、予算対比では 1 億 2,067 万円の減収）、支出については 13 億 7,026 万円（前年度比 1 億 9,418 万円の支出減、予算対比では 5,162 万円の支出減）となり、平成 29 年度の事業収支は 1 億 63 万円の赤字（前年度比 2 億 7,132 万円の減、予算対比では 6,905 万円の減）と、極めて厳しい収支結果となりました。

なお、正味財産については、平成 29 年度に執行した改修整備資金による井水設備やトイレ等の改修整備、固定資産の一括償却の費用等 7,576 万円を加えた 1 億 7,639 万円の減少となります。

平成 30 年度は、念願のニューホールがいよいよ竣工します。収容人数 2,500 名規模の多目的ホールとして、会議や展示、パーティー等様々なイベントにも対応できるだけでなく、既存施設と併せた利用により、今まで以上に多様かつ大規模な催事の開催が可能となる環境が整うこととなります。

このため、平成 30 年度をニューホール竣工を機にした巻き返しの年とすべく、長期だけでなく短期の催事も、言わば車の両輪として誘致に取り組み、安定的な収益構造を確立して参ります。

(1) 主な会議開催状況

①国際会議一覧 抽出条件：*当財団基準で国際会議、且つ公開可能な主な会議

	会議・催事名	開催日	参加人数
(1)	公益社団法人日本青年会議所 2017年度京都会議	1月19日～1月22日	15,000人
(2)	第8回「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式	2月11日～2月11日	1,200人
(3)	第47回MDRT日本会大会 in 京都	4月20日～4月21日	2,400人
(4)	第32回国際アルツハイマー病協会 国際会議	4月26日～4月29日	3,900人
(5)	第26回日本心血管 インターベンション治療学会	7月6日～7月8日	6,100人
(6)	第23回日本看護診断学会学術大会	7月15日～7月16日	1,100人
(7)	比叡山宗教サミット	8月3日～8月4日	1,800人
(8)	東アジア文化都市サミット	8月25日～8月26日	300人
(9)	第23回世界神経学会議/ 第58回日本神経学会学術大会	9月16日～9月21日	8,600人
(10)	第15回国際TDM会議・ 第34回日本TDMCT学会学術大会	9月23日～9月28日	1,300人
(11)	科学技術と人類の未来に関する 国際フォーラム第14回年次会合	9月30日～10月3日	1,400人
(12)	第62回日本口腔外科学会総会・学術大会	10月20日～10月22日	4,500人
(13)	第12回薬事規制当局サミット/ICMRA会合/ 薬事規制当局サミットシンポジウム	10月23日～10月27日	110人
(14)	第10回世界毛髪研究会議 (CHR2017)	10月31日～11月3日	500人
(15)	第51回日本てんかん学会学術集会	11月3日～11月5日	1,300人
(16)	第33回京都賞授賞式・記念講演会・ 記念ワークショップ	11月10日～11月12日	3,400人

(17)	第 64 回日本臨床検査医学会学術集会・ 第 29 回世界病理臨床検査医学連合会議	11 月 15 日 ～ 11 月 19 日	2,000 人
(18)	第 30 回日本内視鏡外科学会総会	12 月 7 日 ～ 12 月 9 日	7,000 人
(19)	地球環境京都会議 2017	12 月 10 日 ～ 12 月 10 日	1,000 人
(20)	日本歯周病学会 60 周年記念大会	12 月 16 日 ～ 12 月 17 日	4,000 人

*当財団基準による国際会議の定義：

政府及び国際機関、企業等が主催し、2 か国以上の代表者或いは参加者等が参加する会議。

②国内会議一覧 抽出条件：公開可能な主な会議

	会議・催事名	開催日	参加人数
(1)	第 20 回日本病態栄養学会年次学術集会	1 月 13 日 ～ 1 月 15 日	6,000 人
(2)	100 のレジリエント・シティ アジェンダセッティング・ワークショップ	2 月 8 日 ～ 2 月 8 日	110 人
(3)	第 55 回関西財界セミナー	2 月 9 日 ～ 2 月 10 日	600 人
(4)	第 51 回糖尿病学の進歩	2 月 17 日 ～ 2 月 18 日	3,000 人
(5)	ライオンズクラブ国際協会 335-C 地区 第 63 回年次大会	4 月 15 日 ～ 4 月 15 日	1,000 人
(6)	京都新酒まつり	4 月 15 日 ～ 4 月 16 日	10,000 人
(7)	第 10 回宝酒造杯囲碁 クラス別チャンピオン戦 京都大会	4 月 23 日 ～ 4 月 23 日	1,300 人
(8)	国際ロータリー第 2650 地区 地区研修・協議会	4 月 30 日 ～ 4 月 30 日	1,200 人
(9)	第 55 回 IBM ユーザー・シンポジウム	5 月 18 日 ～ 5 月 19 日	1,000 人
(10)	第 60 回全国私立保育園研究大会	6 月 7 日 ～ 6 月 9 日	2,350 人
(11)	第 5 回日本糖尿病療養指導学術集会	7 月 29 日 ～ 7 月 30 日	1,500 人
(12)	日本小児看護学会 第 27 回学術集会	8 月 19 日 ～ 8 月 20 日	1,800 人

(13)	第13回 子育て支援講座	8月 27日 ~ 8月 27日	1,730人
(14)	日本認知症グループホーム協会 全国大会	9月 8日 ~ 9月 10日	950人
(15)	第68回日本皮膚科学会 中部支部学術大会	10月 7日 ~ 10月 8日	1,200人
(16)	第57回日臨技近畿支部医学検査学会	10月 27日 ~ 10月 29日	1,500人
(17)	古典の日フォーラム2017 「5周年記念式典」	11月 1日 ~ 11月 1日	1,700人
(18)	平成29年度 心の健康・文化フォーラム	12月 10日 ~ 12月 10日	1,800人

運営状況、成果等（会議一覧より、抜粋）

①- (4) 「第32回国際アルツハイマー病協会国際会議（ADI2017）」

主催：ADI and Alzheimer's Association Japan (AAJ)

参加人数：3,900人

開催日：4月26日～29日

運営状況、成果等：

国際アルツハイマー病協会（ADI）と日本の「認知症の人と家族の会」の主催で、認知症に関する世界最大の国際会議が開かれました。日本での開催は平成16年以来2回目。今回は「認知症：ともに新しい時代へ」をテーマに、65の国・地域から認知症の本人や家族、介護関係者、研究者等約3,000人が集まり、活発な議論が行われました。また、京都府、京都市、「認知症の人と家族の会」が共催した展示発表等の一般公開には約1,000人の方々が参加されました。

①- (9) 「第23回世界神経学会議/第58回日本神経学会学術大会」

主催：第23回世界神経学会議組織委員会、日本学術会議

参加人数：8,600人

開催日：9月16日～21日

運営状況、成果等：

平成23年より誘致の準備を始め、ロビー活動やPR、プレゼンテーションを経て、平成25年に京都での開催が決まりました。過去に開催された世界神経学会の中でも最大人数となる8,641人の参加者を迎え、オープニングセレモニーには秋篠宮殿下・妃殿下にご臨席賜り、会期中はノーベル賞受賞者3名を迎えてのプレナリー・レクチャーをはじめ、世界の神経学・脳科学に関係する医師や研究者による最先端の研究発表がなされました。

①- (18) 「第 30 回日本内視鏡外科学会総会」

主催：第 30 回日本内視鏡外科学会総会

参加人数：7,000 人

開催日：12 月 7 日～9 日

運営状況、成果等：

内視鏡手術は、工学系やエネルギーデバイスの発達と普及、進化がめざましく、近年ではロボット手術が登場するなど 30 年前には想像がつかない進歩を遂げています。本学会では、「心技一体：30 年の想いを新たなる 30 年へ」をメインテーマに主な国際会議参加型セッションと多数のおもてなし企画を盛り込み、これまで開拓された内視鏡手術の歩みを振り返り、加速する変革に思いをはせる総会となりました。

①- (19) 「地球環境京都会議 2017」

主催：京都市

参加人数：1,000 人

開催日：12 月 10 日

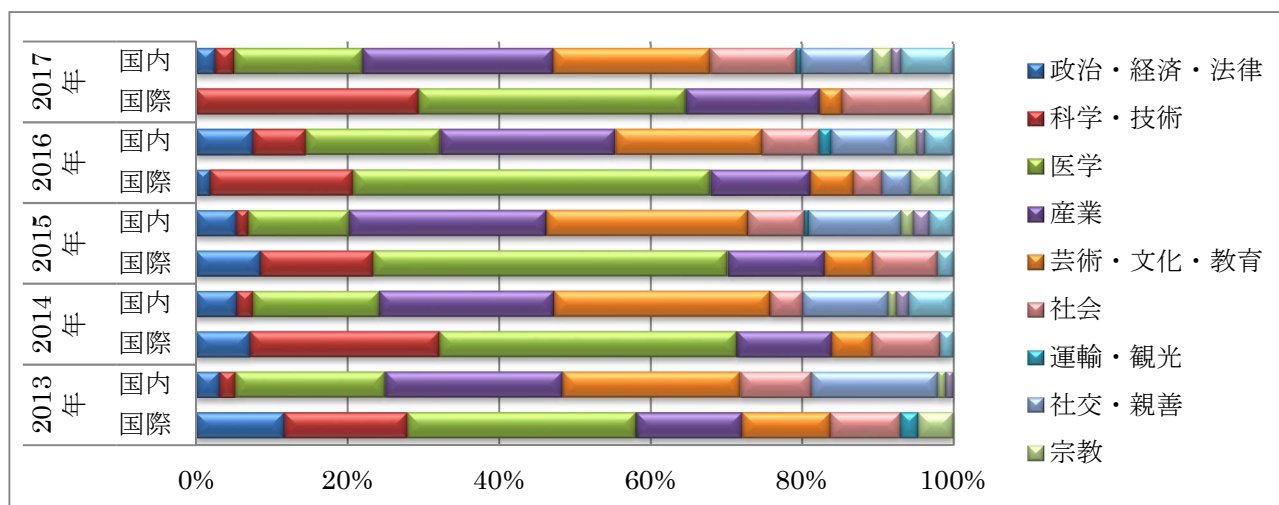
運営状況、成果等：

平成 9 年に当館にて国連気候変動枠組み条約第 3 回締約国会議（COP3）が開催され、採択された京都議定書以降世界が取り組んできた地球温暖化対策の成果と課題をもとに、パリ協定を踏まえた対応策の推進に向けて議論されました。各国の代表が集まり、持続可能な都市文明の構築に向けて都市間連携を強化し、課題を解決できる仕組み作りための議論がなされ、会議後は「京都宣言」の発信という形で 2050 年の世界の都市のあるべき姿が共有されました。

③開催件数と参加者数

国際・国内	件数 ・参加人数	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年
国際会議	開催件数	43 件	56 件	47 件	53 件	34 件
	参加人数	72,617 名	86,792 名	73,180 名	111,208 名	66,495 名
国内会議	開催件数	192 件	186 件	188 件	186 件	155 件
	参加人数	199,714 名	159,155 名	167,605 名	148,245 名	100,894 名
合計	開催件数	235 件	242 件	235 件	239 件	189 件
	参加人数	272,331 名	245,947 名	240,785 名	259,453 名	167,389 名

④開催会議の事業分類比率



⑤主な会場の稼働率

会場名	2013年		2014年		2015年		2016年		2017年	
	稼働日数	率 (%)	稼働日数	率 (%)	稼働日数	率 (%)	稼働日数	率 (%)	稼働日数	率 (%)
メインホール	110	30.9	83	40.6	142	39.8	166	49.0	121	36.0
イベントホール	109	30.7	124	34.8	153	42.9	119	35.0	91	27.0
アネックスホール	130	36.6	154	43.2	125	35.0	146	43.0	102	30.0
Room A	72	33.6	103	28.9	118	33.1	140	41.0	97	29.0

稼働率=稼働日数÷営業日 (365日-電気点検日2日×12か月-休館日4日)

※2013年のRoom A、2014年のメインホールは、耐震工事日数141日、152日を営業日より減じています。

開催会議、運営状況全般

使用料収入については過去最高を記録した平成28年(16.9億円)から一転、12.2億円に留まりました。3,000人を超える全館規模の大型学術会議件数が平成28年の14件(国際12件、国内2件)から平成29年の10件(国際8件、国内2件)に減少したことが大きな要因であり、年内に開催が見込まれる新たな催事需要の受注に向けた緊急の営業対策を行いましたが、補いきれませんでした。ニューホール工事の最盛期を迎え、国内最大級の医学会が駐車場にテント設営が出来なかったことにより他に開催地を変更せざるを得なくなったこと等もあり、また、日本全体において、東京五輪

が開催される2020年前後にあわせて大型国際会議の日本開催が予定され、その前回会議の開催年に当たる平成29年は、全国的に大型国際会議の日本開催が控えられという傾向があったこと、京都市内においては、岡崎エリアへのMICE開催地の分散化等も影響したと考えられます。

(2) 誘致の取組み

① 誘致活動全般

平成29年は、(ア) 個別案件に対応する営業活動と、(イ) 顧客を持ちその顧客を当館に紹介をいただくビジネスパートナー(PCO、エージェント)への営業活動の2つの誘致のスタイルを従来以上に意識し営業活動を展開しました。また平成28年から試験的に行ってきた国際MICE海外見本市への出展を本格化させ、誘致活動の場を海外にも展開し、海外顧客、PCOとの直接的な取引の拡大を目指しました。これらの活動を通じ、コンベンションビューローをはじめ、地域のステークホルダーとの連携を強化しました。

(ア) 個別案件に対応する営業活動

- ・平成29年会議の誘致強化
 - 緊急営業対策本部の設置 (年内開催が見込まれる新たな顧客の開拓)
- ・リピーター案件のさらなる定着化に向けた取組み
 - 次回開催に向けた積極的な提案活動の実施

(イ) ビジネスパートナーに向けた企画・プロモーション型営業活動

- ・Website (公式HP) の全面刷新
 - 特に会場選択検討者向けのコンテンツ、利便性を充実させ、問合せに繋げる画面構成づくりを実施、学術会議以外の問合せ増につなげた
- ・ニューホールとイベントホールの一体利用を想定した企業需要へのアプローチ
 - 主に企業インセンティブ誘致を目指した情報発信、プロモーション活動を、固定顧客をもつ関西、首都圏のエージェントに向けて実施
 - エージェント別取扱い顧客リストの作成
 - エージェント訪問活動及び会場視察・意見交換会の実施
- ・新たな誘致ルートの開発を目指した海外見本市への出展
 - AIME2017 in Melbourne (メルボルン) 京都ホテルオークラとの共同による出展
 - IMEX2017 in Frankfurt (フランクフルト) ビューロー運営の京都合同ブースに参画
 - IBTM2017 in Barcelona (バルセロナ) ビューロー運営の京都合同ブースに参画

(ウ) 新たなケータリングサービスの導入に向けた取組み

(ニューホール、イベントホール対象)

- ・ニューホール開業にあわせたケータリングサービスの刷新
顧客の希望により、市内提携ホテルから飲食サービスが受けられる新たな制度の導入

(エ) 顧客アンケートの全面リニューアル

- ・アンケートを全面刷新し、顧客満足度向上のための改善課題の絞り込みを実施すると同時に催事ごとの改善課題についての把握を推進
- ・回収数を大幅に伸ばし、優先すべき改善項目の明確化に寄与

②誘致が成功した会議件数

平成 30 年以降開催分では、2020 年開催の「第 14 回国際連合犯罪防止刑事司法会議」を始め 118 件が決定となりました。一方、平成 29 年の厳しい収支状況を改善すべく、当年度中開催の会議の取り込みにも注力した結果、97 件が決定しました。翌年以降の開催分を含めた総決定件数は 215 件となりました。

(ア) 平成 30 年以降開催の会議 計 118 件

公開可能な主な例

会議名： 第 14 回国際連合犯罪防止刑事司法会議

主催： 法務省

参加人数： 4,000～5,000 人

開催日： 2020 年 4 月

会議名： 第 16 回世界脳神経血管内治療学会

主催： NPO 法人日本脳神経血管内治療学会 国際委員会

参加人数： 2,500 人

開催日： 2021 年 9 月 26 日～9 月 30 日

会議名： 国際農業工学会 2022

主催： 独立行政法人日本学術会議 CIGR 日本委員会

参加人数： 1,000 人

開催日： 2022 年 12 月 5 日～12 月 8 日

会議名： Transducers2023（情報転送のための変換装置に関する会議）
主催： Transducers2023 準備委員会
参加人数： 1,000 人
開催日： 2023 年 6 月 26 日～6 月 29 日

会議名： 第 15 回国際口蓋裂学会
主催： 一般社団法人日本口蓋裂学会
参加人数： 1500 人
開催日： 2025 年 10 月 19 日～10 月 24 日

（イ）平成 29 年中開催の会議 計 97 件

会議名： 100 のレジリエント・シティ アジェンダセッティング・ワークショップ
主催： 京都市
参加人数： 110 人
開催日： 2 月 7 日～2 月 8 日

会議名： 第 10 回小児がん・脳腫瘍全国大会
主催： 特定非営利活動法人エスビューロー
参加人数： 200 人
開催日： 8 月 5 日～8 月 6 日

会議名： 地球環境京都会議 2017
主催： 京都市
参加人数： 1,000 人
開催日： 12 月 10 日

会議名： 平成 29 年度 心の健康・文化フォーラム
主催： 公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会
参加人数： 1,800 人
開催日： 12 月 10 日

会議名： 第 12 回地球研国際シンポジウム
主催： 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所
参加人数： 170 人
開催日： 12 月 20 日

③今後の誘致活動

こうした状況を踏まえ、平成 30 年のニューホール開業を契機とし、大型学術会議等のさらなる取扱いの拡大を目指すとともに、あらたな取組強化分野として企業が主催するインセンティブ案件、展示案件にも着目し、当館の施設規模を活かしながら開催催事の多様化にも積極的に取り組みます。

なお、平成 29 年度中に決定した「第 14 回国際連合犯罪防止刑事司法会議」をはじめ、大型案件の先行受注が特に好調な 2020 年は、使用料収入で大幅な増収が見込まれます。また 2018～2019 年に於ける大型案件の受注も復調しており、施設規模拡大を前面に打ち出した誘致活動を行い、さらに使用料収入の回復を着実なものにしてまいります。

2021 年以降は 2020 年（五輪開催年）に合わせ整備されてきた国内各地域の施設との競争拡大を視野にいれ、大型案件に対する早期情報収集・アプローチ活動に取り組みます。平成 30 年は、誘致活動においても特に 2021～22 年の使用料収入基盤を確立する重要なタイミングとなります。外部環境の変化も先読みしながら、先行 5 カ年をひとつの単位として誘致活動を展開してまいります。

（3）地域社会や国際親善等への貢献を目的とした取組み

庭園を無料開放して桜を鑑賞いただく「桜・さくらスペシャルデイズ」や、当館内にある茶室（宝松庵）を利用した茶会「宝松庵茶会」、テーマ国に因んだ企画と共に、その国の料理等も楽しんでいただくガーデンパーティー「乾杯の夕べ」といった、催事利用者以外の一般の方々にも当館をご利用いただくことのできる催しを開催しました。

上記の恒例となった催し以外にも、地域住民あるいは留学生の方々等に、日本の伝統文化や国際交流を体験していただくイベントも実施することで、地域社会及び国際親善等への貢献を目的とした活動を行いました。

主な自主企画イベント

① 「桜・さくらスペシャルデイズ 2017」

開催日： 4 月 2 日～3 日

参加人数：延べ 3,600 人

② 第 63 回春の宝松庵茶会・第 64 回秋の宝松庵茶会

開催日： 4 月 23 日（春）、11 月 23 日（秋）

参加人数：春・秋共に 600 人

③ 乾杯の夕べ 2017～地中海料理と花火で乾杯！～

開催日： 7月21日～22日

参加人数：3,100人

④和文化・茶道体験企画

中高生及び留学生対象きもの着付と和文化体験

開催日： 3月12日

参加人数：200人

(4) 施設の整備及び拡充に向けた取組み状況

①ニューホールの整備状況について

(ア) 建築状況の経過

- ・収容人数2,500人規模の多目的に使用可能なホールとして建設中で、建築部分の工事進捗率は平成29年12月末時点で7割程度となり、躯体工事はほぼ完了しました。
- ・引き続き、設備機器の設置及び内装、外装工事等が進められ、予定通り平成30年6月末完成、竣工検査を経て当財団への引き渡しとなる見込みです。

(イ) 内装工事「京都らしい設え」の準備状況

- ・国内外からの来館者に日本文化の素晴らしさを堪能いただき、我が国に対する理解と友好を深めていただくため、京都市と連携して、来場者を迎え入れる「ロビー空間」や賓客をもてなす「特別室」等を対象に、京都の伝統技能や匠の技を活かした「京都らしい設え」を施しています。
- ・「京都らしい設え」の内装工事については、当財団を中心に、国の本体工事の進捗に合わせ、平成30年6月末までの完成に向け、各部の素材や色等の仕様の調整を進めました。
- ・「京都らしい設え工事契約の締結」 196,560千円
うち平成29年度(初年度) 62,000千円(着手金)
- ・「京都らしい設え工事監理業務の契約」 2,376千円
- ・「京都らしい設え意図伝達業務の契約」 1,296千円
- ※いずれも当財団資産取得事業予算。平成30年度も継続
- ・なお、調度・備品については、京都市において、公募型プロポーザル方式等によ

り業者選定が行われ、当財団とも連携しながら、平成 30 年 8 月末の納品に向けて、順次、各事業者や伝統技能者と打合せを行い、制作が進められています。

※平成 30 年度も継続

(ウ) 将来に向けた更なる拡充

・5,000 人規模のホールへの更なる施設拡充については、現在建設中のホールの稼働を足掛かりとし、引き続き、国に対し、オール京都の体制であらゆる機会を捉えた働き掛けを継続していきます。

②既存施設の整備状況について

(ア) 財務省普通財産維持費

・ 防災監視システム等補修工事 24,980 千円

(イ) 当財団資産取得事業予算等

・ 「ネットワーク機器の更新」 8,790 千円

・ 「ワイヤレスマイクロホンの購入」 1,620 千円

・ 「インカム（催事運営時の通話機器）の購入」 1,428 千円

・ 「館内ウォッシュレット工事」 1,780 千円

・ 「館内無料 Wi-Fi アンテナ設置工事」 4,130 千円

(ウ) 当財団修繕・改修計画予算等

・ 「井水送水管改修工事」 10,950 千円

・ 「庭園内の害獣対策柵の設置」他 2,509 千円

・ 「施設・設備の長寿命化に向けた改修計画作成業務」9,200 千円

うち平成 28 年度(初年度)4,600 千円（着手金）／平成 29 年度 4,600 千円

・ 「本館貯留槽動力幹線絶縁改修工事」 4,820 千円

Ⅲ 理事会及び評議員会等に関する事項

1. 理事会及び役員に関する事項

(1) 理事会

会議の区分	会議の日時・場所	会議の目的事項
第105回 理事会	平成29年3月7日 午前11時～12時 会館 Room C-2	第1号議案 特定費用準備資金等取扱規則の制定及び 特定費用準備資金等の積立てについて 第2号議案 平成28年度事業報告(案)及び決算(案) の件 第3号議案 第26回評議員会招集の件 報告事項 平成29年度業務推進計画について
第106回 理事会	平成29年12月15日 午前11時～12時 会館510会議室	第1号議案 平成29年度事業計画(案)及び収支予算 (案)の件 第2号議案 第27回評議員会招集の件 報告事項 (1)内閣府立入検査の結果について (2)決定した主要な国際会議について

(2) 役員の異動

氏名	異動年月日
井上 正幸	平成29年3月22日 重任
上村 多恵子	平成29年3月22日 重任
谷野 作太郎	平成29年3月22日 重任
堀木 エリ子	平成29年3月22日 重任
堀場 厚	平成29年3月22日 重任
松下 正幸	平成29年3月22日 重任
山岡 義生	平成29年3月22日 重任

(3) 役員氏名

※（理事長・副理事長・常任理事・理事・監事の順で）五十音順

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	稲盛 和夫	理事	堀木 エリ子
副理事長	村田 純一	理事	堀場 厚
常任理事	木下 博夫	理事	松下 正幸
理事	井上 正幸	理事	山岡 義生
理事	上村 多恵子	理事	山極 壽一
理事	門川 大作	理事	山田 啓二
理事	立石 義雄	監事	大宮 正
理事	谷野 作太郎	監事	西田 憲司

理事長 1 名 副理事長 1 名 常任理事 1 名 理事 11 名 監事 2 名 計 16 名（平成 29 年 12 月末日現在）

2. 評議員会及び評議員に関する事項

(1) 評議員会

会議の区分	会議の日時・場所	会議の目的事項
第 26 回評議員会	平成 29 年 3 月 22 日 午前 11 時～12 時 会館 RoomC-2 会議室	第 1 号議案 平成 28 年度事業報告及び決算(案)の件 第 2 号議案 理事及び評議員の選任の件 第 3 号議案 役員等候補選出委員会委員の選任の件 報告事項 平成 29 年度業務推進計画について
評議員会 (書面表決)	平成 29 年 7 月 4 日	議案 廣瀬茂夫氏を評議員に選任する件

(2) 評議員の異動

氏名	異動年月日
小村 武	平成 29 年 3 月 22 日 辞任
真砂 靖	平成 29 年 3 月 22 日 就任
齊藤 行巨	平成 29 年 7 月 21 日 辞任
廣瀬 茂夫	平成 29 年 7 月 21 日 就任

(3) 評議員氏名

※五十音順

役職名	氏名	役職名	氏名
議長	明石 康	評議員	千 宗員
評議員	阿南・ガージェニア・史代	評議員	千 容子
評議員	池坊 由紀	評議員	手嶋 龍一
評議員	井村 裕夫	評議員	寺島 実郎
評議員	内海 善雄	評議員	中尾 一和
評議員	大倉 治彦	評議員	服部 重彦
評議員	岡田 憲和	評議員	廣瀬 茂夫
評議員	小倉 和夫	評議員	松山 良一
評議員	柏原 康夫	評議員	真砂 靖
評議員	齊藤 修	評議員	山下 晃正
評議員	坂本 吉弘	評議員	吉村 彰彦

評議員 計 22 名

(平成 29 年 12 月末日現在)

3. 役員等候補選出委員会及び委員に関する事項

(1) 役員等候補選出委員会

会議の区分	会議の日時	会議の目的事項
第7回 役員等候補選出委員会 (書面表決)	平成29年2月20日	議案 理事及び評議員候補者選出の件
第8回 役員等候補選出委員会 (書面表決)	平成29年6月12日	議案 廣瀬茂夫氏を評議員候補に選出の件

(2) 委員の異動

氏名	異動年月日
小村 武	平成29年3月22日 辞任
真砂 靖	平成29年3月22日 就任

(3) 委員氏名

※五十音順

役職名	氏名
委員長	明石 康
委員	井村 裕夫
委員	岡田 憲和
委員	齊藤 修
委員	服部 重彦
委員	真砂 靖
委員	山下 晃正

委員長1名 委員6名 計7名 (平成29年12月末日現在)

IV 庶務事項に関する事項

1. 施設の管理再委託契約に関する事項

当公益財団法人と京都市が締結している管理再委託契約の施設の内容は次のとおり。

（注：国と京都市との間で国有財産管理委託契約を締結）

区 分	種 目	名 称	数 量	価 格
土 地	宅 地		156,096.77 m ²	4,897,485,158 円
立木竹	樹 木		798 本	22,930,077
建 物	事務所建	会 議 場	14,693.54 m ²	2,189,119,764
			37,786.48	
	事務所建	展 示 場	4,860.69	452,369,785
			7,976.58	
	雑屋建	車 寄	126.11	4,809,554
			126.11	
	雑屋建	ポンプ室	189.93	11,565,405
			189.93	
	雑屋建	渡廊下 (連絡歩廊)	449.76	38,360,426
			449.76	
	雑屋建	渡廊下 (連絡歩道 橋)	188.24	43,510,685
			188.24	
	雑屋建	渡廊下 (既設地下鉄 出入口上屋)	9.33	3,462,921
			9.33	
車庫建	ごみ容器置場	16.43	355,118	
		16.43		
計		20,534.03	2,743,553,658	
		46,742.86		
工 作 物			一 式	1,751,646,246
	合 計			9,415,615,139

2. 休館日に関する事項

平成 29 年度中に、次の日を休館としました。

1 月 1 日 (日) ~ 4 日 (水)	4 日間	年始休館
8 月 1 1 日 (金)	1 日間	臨時休館
1 2 月 2 4 日 (日) ~ 2 5 日 (月)	2 日間	臨時休館
1 2 月 2 8 日 (木) ~ 3 1 日 (日)	4 日間	年末休館

3. 事務局職員に関する事項

区 分	男	女	合 計
館長(常任理事)	1	0	1
事 務 局 長	1	0	1
副 事 務 局 長	1	0	1
総 務・企 画 部	10	5	15
施 設 部	10(1)※	1	11
営 業 推 進 部	8(1)※	9	17
合 計	30	15	45

※内 1 名、施設部及び営業推進部を兼務

()内は出向者 (平成 29 年 12 月末日現在)

4. 組織改正に関する事項

平成 29 年 4 月に営業推進部におき、誘致等の戦略立案と実施から催事開催終了までの一連をより円滑に循環させるため、「営業企画課」と「誘致・予約課」を「企画・誘致課」として統合し、「運営課」と併せた 2 課体制に改組しました。

5. 規程整備に関する事項

法改正に伴い、「育児・介護休業及び育児・介護短時間勤務等に関する規程」の改定を行いました。また、「旅費規程」等の内部規定について改定を行いました。